

特定非営利活動法人ウイズアイ

不登校の子どものための居場所 “ゆいゆい”

季刊 居場所だより



2P R4年度の取り組み
3P “特集”親の会
4P R3年度実績

子どもの居場所ゆいゆいは
子どもの安心を支え、
学校・家庭をコーディネートして
次のステップにつなげて成長していく場所です

ゆいゆいの居場所では、決められた学習や運動などのプログラムはなく、子どもたちの希望に合わせて、「学校にいかねばならない」というプレッシャーから解放されてのびのび過ごし、徐々に元気になっていく子どもの様子がみられます。市内の学校や関係機関へのゆいゆいの居場所の周知も進み、学校から不登校の子どもの紹介してもらえるようになりました。また、不登校の親同士が語る場を継続して開催してきました。

居場所に通う子どもの数は増えてきましたが、居場所は民家の2階にあり、民間の助成金のみで運営しているため、スペースもスタッフの数にも限りがあります。いずれ社会に出ていく子どもたちを、居場所で受け入れるだけでよいのだろうかという課題に直面しました。不登校の子どもが活用できる機関や資源として、適応指導教室や放課後児童デイサービス、フリースクール、ボランティア団体、社会福祉法人が行う居場所など様々あります。学校の教室に入ることができなくても子どもの特性に合った特別支援教室もあります。

そこで、ゆいゆいの居場所を通過点にして、学校を含めた次のステップにつながるような働きかけを行うことで子どもの将来を豊かなものにする事ができるのではないかとスタッフで考えました。

よって、今年度は子どもが次のステップに進めるよう学校と連携し、保護者への支援を計画的に行っていくことになりました。また学校へ出向き、不登校相談を行うなど、まだゆいゆいの居場所の取り組みを知らない保護者への周知を勧めていく予定です。

本事業のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

居場所アドバイザー 福本麻紀

